

1 調査日 令和4年9月9日（金）

## 2 調査の概要

### （1）帝産湖南交通株式会社（草津市山寺町）

帝産湖南交通株式会社は、県内の湖南地域を中心に、バスやタクシー事業などに携わり、近年はコミュニティバスの運行も担うなど県民の生活の基盤となる県内の公共交通を広く支えてこられた。

については、今後の委員会活動の参考とするため、人口減少や新型コロナウイルスの影響による利用者の減少に伴う課題や今後の地域公共交通事業者としての取組、国、県、市町との連携等について調査を行った。



### （2）彦根総合スポーツ公園陸上競技場（(仮称) 金亀公園）（彦根市松原町）

彦根総合スポーツ公園陸上競技場は、2025年開催の国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会に向けて、現在、主会場となる第1種陸上競技場の新築工事、第3種陸上競技場整備工事および公園整備工事等が行われており、大会期間中は主会場として多くの陸上競技が実施される予定である。

また、大会終了後も、選手育成と競技力の向上の場として、本県のスポーツ振興やスポーツを通じた地域活性化の場としての役割が期待されている。

については、今後の委員会活動の参考とするため、彦根総合スポーツ公園陸上競技場を訪問し、両大会に向けた、事業の進捗状況について調査を行った。



(3) プロシードアリーナ HIKONE (彦根市スポーツ・文化交流センター) (彦根市小泉町)  
プロシードアリーナ HIKONE は、スポーツ大会や市民交流の場として活用される彦根市の施設であり、「スポーツ棟」と「まちなか棟」によって構成され、本年 12 月にオープンを予定している。

また、本施設は、本県開催の国民スポーツ大会のハンドボールおよび弓道の会場として内定しているところである。

については、今後の委員会活動の参考とするため、プロシードアリーナ HIKONE を訪問し、施設の概要について調査を行った。



(4) 彦根翔西館高等学校 (彦根市芹川町)

学校と地域の公共交通機関は、地域の活性化やまちづくりのための重要な役割を担っている。県立彦根翔西館高等学校は、近江鉄道沿線の彦根口駅前に位置し、日頃から通学のために多くの生徒が近江鉄道をはじめとして公共交通機関を利用されている。

については、本委員会の重点審議事項である「将来に向けた地域公共交通のあり方」について調査するため、県民参画委員会を開催し、彦根翔西館高等学校の生徒との意見交換を実施した。

